

令和2年度 蔵書評価 実施報告

実施日 令和2年9月18日(金)

評価分野

- 650-652 林業全般・林政・森林史
- 653-656 森林立地・森林保護
- 657-658 林産物
- 659 狩猟
- 468 生態学
- G650-659 岐阜県の林業
- J65 林業・森林に関する児童書
- 清流文庫 木育
- 376.154 環境教育
- 524.5 木造建築

※ 書庫の林業関係資料も見ていただいた。

評価者 岐阜県立森林文化アカデミー教授 1名
環境企画課 職員 1名

評価方法 各分野の開架の蔵書を診断者が確認し、蔵書の構成や気づいた点を蔵書評価書に記入する。

診断結果

総評・留意点

- ・図書分類と実際の内容が一致していない書籍が多い。
- ・シリーズ物は著者別に分類するよりまとまっている方がよいのではないか。
- ・書庫に開架に出した方がよい書籍がある。

650-652 林業全般・林政・森林史

- ・森林学の百科事典は近々新しいものが刊行される。

653 森林立地・森林保護

- ・森林生態学に関する資料があるとよい。

657-658 林産物

- ・キノコ関係の図鑑類、料理本など気軽に読むことができる本がもう少しあるとよい。
- ・キノコ以外の菌類に関する資料もあるとよい。

659 狩猟

- ・入門書、アウトドア関係の書籍等の充実が望まれる。女性や移住希望者の中にも興味をもつ人が多い。
- ・獣の解体処理に関する書籍があるとよい

468 生態学

- ・生物多様性の保全は、SDGSと合わせて、最近興味を持たれている方も多いので、入門書的な書籍の充実を。
- ・外来種についていくつかの訳本が所蔵されているが、内容に疑問が呈されているものが多い(「外来種は本当に悪者か?」など)
- ・生態学を学びたい大学生が最初に手に取るような教科書の比率が多い。

G650 岐阜県の林業

- ・林業計画書等は開架でなくてもよいのでは。
- ・稲本氏の著作や長良川の運材についての資料は1階に(も)あるとよい。

J65 林業関係児童書

- ・もう少し児童書ジャンルを手厚くしてほしい(絵本やほかの分類にあるのかも知れないが)
- ・幼少期の体験、興味から、成長に従って徐々に詳しく、より専門的になっていく橋渡し期として児童書の存在は重要。

清流文庫 木育

- ・「木育」というより、清流の国ぎふの豊かな清流を支える森林関連図書というイメージの蔵書構成(それも木育の重要な一部だが)。
- ・林業分野にこだわるより、森林の登場する文学・小説を紹介するなど、司書の資料知識を生かしたコーナーにするとよい。

376.154 環境教育

- ・森林環境教育の分野が非常に薄い。

524.5 木造建築

- ・飛騨の匠の技術、伝統工芸、建築等の分野、白川郷の合掌造りなどが少ない。

今後の対応

- ・提示された事案をもとに、資料を収集する。
 - … 紹介のあったタイトルを中心に、入門書、児童書、新書(林業普及叢書など)をリストアップする方針。
- ・内容と分類があっていないと指摘があったものについては、分類を再検討・修正する。
- ・指摘のあった書庫資料を開架に出す。
- ・清流文庫の「木育」コーナーの再検討